

安 全 報 告 書

2019年度版

肥薩おれんじ鉄道

この安全報告書は、当社における鉄道輸送の安全の確保のための取組や安全の実態をまとめたものです。ご意見・感想をお寄せ下さい。

1 お客さまをはじめ地元の皆さまへ

日頃より、肥薩おれんじ鉄道をご利用いただき誠にありがとうございます。また、沿線地域の皆さまをはじめとする関係者の皆さま方には、当社の事業に関し格別のご理解とご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

当社は、生活の足として、そして観光客誘致のツールとして地域の皆さまのお役に立てるよう努力しておりますが、「安全運行」はその基本となるものです。

本報告書は、鉄道事業法に基づき、輸送の安全確保のための取組みや安全運行の実態について公表するものです。

今後とも、より安全で安心してご利用いただける鉄道を目指して、一層の努力を続けて参りますので、ご意見やご感想を是非お聞かせ下さいませようお願い申し上げます。

肥薩おれんじ鉄道株式会社 代表取締役社長 出田 貴康

2 輸送の安全確保に関する基本的な考え方

(1)安全基本方針

当社の経営理念の第一は、安全の確保です。「安全基本方針」を次のように定め役員・社員はじめ鉄道事業に携わる全ての関係者に周知・徹底しております。

- ① 安全の確保は、輸送の生命である。
- ② 規程の遵守は、安全の基礎である。
- ③ 執務の厳正は、安全の要件である。
- ④ 事故・災害等が発生したときは、人命救助を最優先に行動し、すみやかに安全適切な処置をとる。
- ⑤ 情報は漏れなく迅速、正確に伝え、透明性を確保する。
- ⑥ 常に問題意識を持ち、必要な変革に果敢に挑戦する。

(2)安全目標(2015～2019年度)

区分	項目	内容
目標	列車事故	発生させない。
	乗客の死亡事故	乗客の死亡事故は発生させない。
	踏切の故障に伴う事故	発生させない。

※列車事故とは列車衝突事故・列車脱線事故・列車火災事故の総称

(3)安全目標に対する実績(件数)

年度	2015	2016	2017	2018	2019
列車事故	0	0	0	0	0
乗客の死亡事故	0	0	0	0	0
踏切の故障に伴う事故	0	0	0	0	0

※平成 16 年 3 月開業以来、列車事故等は発生していません。

3 輸送の安全の実態

(1) 鉄道運転事故

年 度	2015	2016	2017	2018	2019
事故件数	0	1	1	0	1
死傷者	0	0	0	0	0
うち死亡者	0	0	0	0	0

※鉄道運転事故とは列車事故・踏切傷害事故・鉄道人身傷害事故・鉄道物損事故の総称

(2) 災害(地震、暴風雨などによる鉄道施設への被害)

2019年度は、局地的な大雨や台風の直撃などで甚大な被害を受けた地域もありましたが、弊社においては、大雨に伴う軽微な被害はあったものの、長時間列車の運転を見合わせるようなことは有りませんでした。

(3) 輸送障害(30分以上の遅延や運休)

2019年度に発生した輸送障害は表の通りです。

項 目	件 数	特 記 す べ き 輸 送 障 害
自然災害など	19	地震や大雨・大雪により生じたもの
設備故障など	5	車両、保安装置の不具合により生じたもの
第三者障害など	1	踏切障害事故や列車支障により生じたもの

(4) インシデント(事故の兆候)

2019年度は、インシデントの発生はありませんでした。

※インシデントとは重大な事故などの危難が発生する恐れのある事態の総称

(5) 行政指導等

2019年度、国土交通省による保安監査が実施され、以下の行政指導を受けました。

- ① プラットホームが建築限界を支障している箇所を確認したので、速やかに措置を講ずること(計画を立てて実施中)
- ② 自動列車停止装置の定期検査において一部未実施があったことを確認したので、実施基準の定める検査設備、及び検査項目について係員に対して必要な教育を行うこと(実施済)
- ③ 鉄道運転事故届出書について対象となる輸送障害が発生していたにも関わらず、同届出書が提出されていないことを確認したので、該当する事故等の報告を適切に実施する体制を構築すること(構築済)

4 重点安全施策の内容

(1) 重点安全施策

運転士の指導に係わる事項の一つとして、検知器によるアルコール検査を日々出勤時に、また睡眠時無呼吸症候群(SAS)について簡易なスクリーニング検査を定期的を実施し、酒気帯び運転防止や社員の健康管理に努めました。

一方、工事に対する安全対策として施工会社と共に「事故防止講習会」を定例的に開催し、施工方法・手順の遵守、保護具の着用等について周知徹底を図り、運転事故及び労働災害の防止に取り組みました。

(2) 異常時対応訓練

当社では、安全・安定輸送を第一に異常時対応訓練を毎年実施して早期運転再開に向けた知識・技術力の向上に取り組んでいます。(2019年度訓練実績)

- ① 水俣駅～米ノ津駅間において「車両故障発生時」、「場内信号機故障発生時」を想定した「異常時運転取扱訓練」を実施すると共に、大規模地震発生時の避難梯子を使用した「避難誘導訓練」を併せて実施しました。
- ② 八代駅貨物線においてJR貨物と合同で実際に列車を脱線させ、復旧に至るまでの「脱線復旧訓練」を開催しました。
- ③ 出水基地(運輸部)において、脱線から復旧に至るまでの「脱線復旧訓練」と「お客さま救済訓練」を地元の警察・消防・市役所の方々にもご参加いただき開催しました。
- ④ 出水警察署の協力のもと、車内及び駅舎内に不審者が現れた際のお客さまを守るための対応方などについての「防犯訓練」を開催しました。

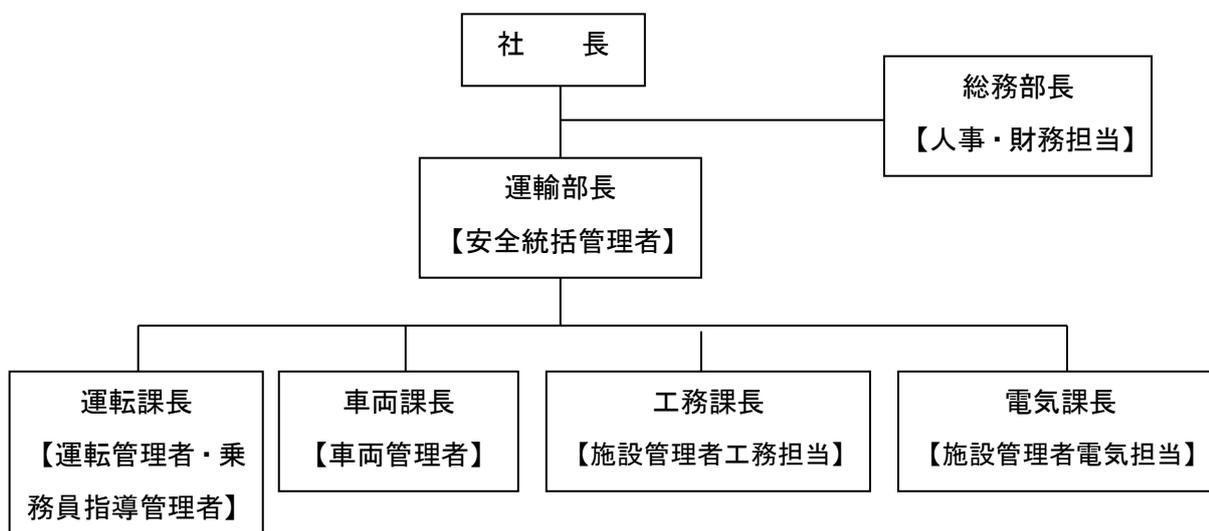
(3) 安全・安定輸送のための設備投資

設備面ではレールの更换やマクラギのPC化、信号保安設備更新、踏切保安設備更新など毎年計画的に実施しています。車両面では2両の全般検査を実施したほか、全車両の前照灯LEDを初め、各種車両機器の更新を行い、安全・安定輸送の維持・向上を図るとともに、乗り心地の向上にも取り組みました。また視覚障害者のホーム転落防止のため、全ての駅ホームに点字ブロックを整備しています。

5 安全管理体制

(1) 組織体制

当社では、社長をトップとする安全管理組織を構築・運用しています。この組織の中で、安全統括管理者、各部門の管理者等がそれぞれの責務を明確にした上、安全確保のための役割を担っています。



(注)本年度より「検修課」は「車両課」に名称を変更しています。

(2) 各管理者の役割

役 職	役 割
社 長	輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う。
運輸部長 【安全統括管理者】	輸送の安全の確保に関する業務を統括管理する。
運転課長 【運転管理者・乗務員指導管理者】	安全統括管理者の指揮の下、運転に関する事項及び運転士の資質の保持に関する事項を統括する。
車両課長 【車両管理者】	安全統括管理者の指揮の下、車両に関する事項を統括する。
工務課長 【施設管理者工務担当】	安全統括管理者の指揮の下、施設に関する事項を統括する。
電気課長 【施設管理者電気担当】	安全統括管理者の指揮の下、電気施設に関する事項を統括する。
総務部長 【人事・財務担当】	輸送の安全の確保に必要な設備投資、人事、財務に関する事項を統括する。

6 利用者・地域の皆さまとの連携とお願い

(1) こども110番の駅

肥薩おれんじ鉄道の有人9駅では、「こども110番の駅」として地域の子どもを守るための取り組みを行っています。

(2) 防犯カメラの設置

肥薩おれんじ鉄道では、安心して駅施設をご利用して頂けるよう、2013年度から順次主要駅に防犯カメラを設置しました。

(3) お客さま同士のお声掛けのお願い

体のご不自由な方、特に視覚に障害をお持ちのお客さまがホームから転落されてお亡くなりになるという悲惨な事故が、全国各地の鉄道会社で発生しています。

弊社社員にも、ホームでお困りのお客さまへのお声掛けを指導していますが、お客さま同士のお声掛けにつきましても、ご協力よろしくお願い致します。

7 安全報告書へのご意見に対する連絡先

安全報告書へのご感想、当社の安全への取組に対するご意見をお寄せ下さい。

肥薩おれんじ鉄道お客さまご案内窓口

TEL.0965-32-5678 FAX.0965-32-5411

E-mail info@hs-orange.co.jp

■月～金 9:00～17:30（祝休日を除く）